

## 秋田大学男女共同参画推進室

# Newsletter vol.33 2019.10

### 「興味をキャリアへ あきた理系プロジェクト」始動しました

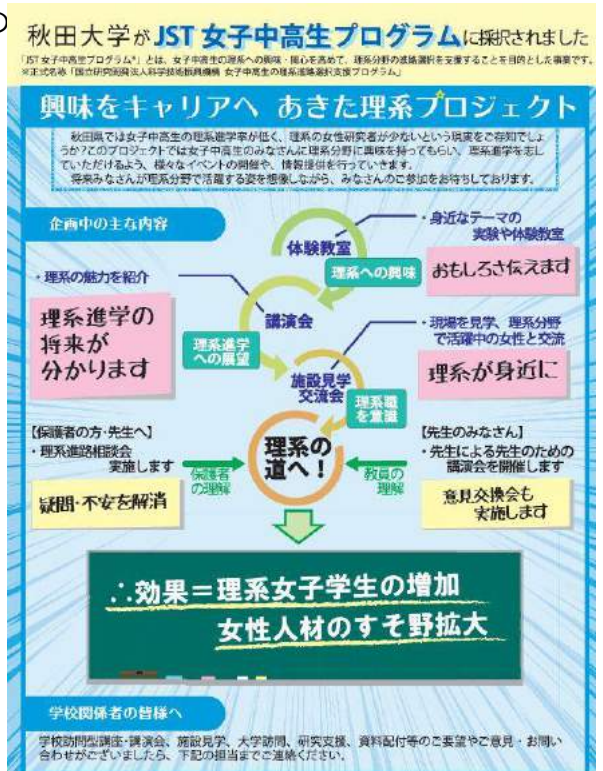
今年度、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の次世代人材育成事業で、女子中高生の理系への進路選択を支援すること目的とした「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」に、秋田大学が申請した「興味をキャリアへ あきた理系プロジェクト」が採択されました。

理系女子学生の増加、女性人材の裾野拡大を目標に、女子中高生が科学への興味を抱き、将来のキャリアへとつなげる手助けとなる取組を行います。

女子中高生を対象に、体験教室や講演会、研究施設見学や交流会を実施します。科学の面白さに触れる体験や身近なキャリアモデルを通して、女性研究者や技術者が将来の職業選択肢の1つとなるような意識改革を目指します。

保護者や教員に対しては、理系進路相談会や、講演会・座談会により、理系進路を選択したことで広がる将来の可能性について知ってもらい、女子中高生のよき理解者となってもらえる取組を実施します。

全国に先駆けて少子高齢化が進む秋田県において、次世代を担う女子中高生を地域全体で後押しをする体制を構築していきます。



### 秋田県総合食品研究センター施設見学・交流会を実施しました



令和元年8月1日(木)に、あきた理系プロジェクトの一環として、秋田県総合食品研究センターにおいて、施設見学および女性研究者との交流会を実施しました。当日は、県内各地から19名にご参加いただきました。

はじめに、秋田県総合食品研究センターの概要を説明いただいた後、2班に分かれ施設見学を開始しました。

施設見学では同センターのスタッフの案内で、普段見る機会のない研究室や加工棟などを見学し、参加者は、熱心にメモをとったり、写真撮影をしたりと、終始興味深い様子でした。

見学後は、同センターの研究内容について説明をしていただき、しょっつるや秋田オリジナル麺「あめこうじ」などの秋田県ならではの食品や食品加工について理解を深めました。その後、2名の女性研究員の方から、理系進路の選択や同センターへの就職のきっかけや経緯について、お話を伺いました。

続いて行われた質疑応答では、研究内容・設備についてや、同センターで働いてよかったこと、センターに就職するためには大学院に進学する必要があるかなど、多岐にわたる質問が活発に出され、大いに盛り上がりました。

終了後のアンケートでは、「研究員の方から実際に話を聞いて、とても参考になった」「理系の大学に進学したいという気持ちが高まった」等の意見が寄せられました。

## 体験教室「果物からゲノムDNAを抽出しよう」を実施しました

令和元年8月6日(火)に、あきた理系プロジェクトの一環として、秋田大学において、体験教室中学生篇「果物からゲノムDNAを抽出しよう」を実施しました。当日は、県内各地から24名にご参加いただきました。

はじめに、本学大学院理工学研究科の疋田教授からDNAに関する講義と実験概要の説明をいただき、実験を開始しました。実験が成功すればDNAを実際に見たり、異なる植物や条件の異なるDNAを見比べたりできます。果たして結果は・・・。

参加者は、実験器具の扱い方などを学生から教えてもらい、はじめは緊張しながら作業していましたが、実験後半になると、指導教員や学生も驚くほど上手に器具を扱っていました。参加者と学生は、実験レポートの書き方を相談したり、アドバイスしたりと、実験を通じて交流を深めました。

また、保護者も抽出されたDNAをカメラにおさめたり、理系進路や理系就職について教員から話を伺ったりと、積極的に参加されていました。

実験後は疋田教授から、実験結果が発表され、その後各班で参加者と学生がフリーディスカッションを楽しみ、閉会をむかえました。

終了後のアンケートで中高生からは、「より科学が好きになった。理系進路も考えてみるようにしたい。」「学生さんと話して情報を得たり、他学年、他校の生徒と実験を行い楽しかった。」等の、また保護者からは「学生さんが話しやすく質問しやすい雰囲気を作ってくれて良かった。」「実際の実験器具を使用することで進路に対して前向きな気持ちを持ってたと思う。」等の意見が寄せられました。



## 体験教室「DNA鑑定を体験しよう！」を実施しました

令和元年8月7日(水)に、あきた理系プロジェクトの一環として、秋田大学において、体験教室高校生篇「DNA鑑定を体験しよう！」を実施しました。当日は、県内各地から26名にご参加いただきました。

はじめに、本学大学院理工学研究科の尾高教授からDNAに関する講義と実験概要の説明をいただき、実験を開始しました。この実験では、4人の容疑者のDNAと犯人のDNAを可視化して鑑定します。果たして参加者は犯人を見つけることはできるのでしょうか。

参加者は、実験器具の扱い方などを学生から教えてもらい、テキストを確認しながら実験を進めました。マイクロピペッターを使って小さなマイクロチューブにDNAサンプルを用意する作業に、最初は慣れない様子でしたが、作業を繰り返すうちに楽しんでいく姿が見られました。午前中の作業が終了すると、参加者と学生は大学の食堂で懇談しながら昼食をとりました。

昼食後は、研究室見学を行いました。参加者は、普段入ることのできない研究室で、教員から研究内容の説明を受けると、興味深い様子で聞いていました。

その後の実験で、電気泳動により可視化された犯人と容疑者達のDNA断片を比較し、見事に犯人を特定しました。

実験後のフリーディスカッションでは、参加者が学生に実験のことや、大学や大学院進学についてなど、様々な質問をすると、学生も丁寧に答え、大いに盛り上がる中閉会しました。

終了後のアンケートでは「理系に進学した後の進路について今までよりも広く考えることができた。」「理工学部に入りたいという意欲がさらにわいた。」といった感想が寄せられました。



## 次のイベントを企画中です

☆11月7日

保護者・教員向け講演 『理系で広がる明るい未来～理工ガールの活躍する社会へ～』  
本学大学院理工学研究科の女性教員が子どもの理系進路選択について講演を行います。

☆11月9日

演示実験・企業紹介・企業訪問・施設見学・交流会 『女子中高生理系ツアーin横手』  
「ものづくり」をテーマにした演示実験や体験活動・ものづくり体験、「ものづくり」の分野で社会貢献している企業紹介や企業訪問を行い、ものづくりの現場に触れてもらいます。

☆11月17日

演示実験・実験教室・体験教室 『女子中高生理系フェスin秋田』  
実験等を交えた楽しいお話しや実験教室、磁石の不思議に迫る体験教室で、科学のおもしろさを知っていただきます。



イベント詳細は、  
ホームページにも  
掲載いたします。  
ご覧ください！

